

Against Cybercrime 2009

安心のネットライフを!

Let's サイバー犯罪対策

2009年版
サイバー犯罪の
[傾向と対策]



サイバー犯罪 …… コンピュータやインターネットを利用した犯罪

(財)社会安全研究財団 警察庁 都道府県警察

最新のサイバー犯罪情勢

平成20年上半期

サイバー犯罪の 検挙状況

サイバー犯罪は、「不正アクセス禁止法違反」、「コンピュータ・電磁的記録対象犯罪」、「ネットワーク利用犯罪」の3種類の犯罪に分類されます。平成20年上半期の検挙件数は、合計2,192件で前年同期(1,808件)と比べて21.2%増加しました。



サイバー犯罪等の 相談受理状況

平成20年上半期に各都道府県警察の相談窓口で受理したサイバー犯罪等に関する相談件数は、38,506件で前年同期(33,058件)と比べて16.5%増加しました。



平成20年中の主なサイバー犯罪の検挙事例

不正アクセス禁止法違反

被疑者(無職・男・33歳)5は、インターネット・オークションの入札履歴等に記載されたIDの文字列からパスワードを推測し、これによって特定された他人のIDとパスワードを使用してインターネット・オークション会社のコンピュータに不正アクセスした。また、インターネット・オークションに内販商品の仕送情報を掲載して着札者から代金を不正に徴した。

詐欺・勧誘的犯罪犯法違反でも検挙。
(1月・大阪、山形、徳島、徳島、和歌山、広島)

不正アクセス禁止法違反

被疑者(アルバイト社員・男・25歳)は、勤務先のインターネットカフェのパソコンに入力内容を記録するソフト(キーロガー)をインストールして、入手した客のID等を使用してインターネットバンキングに不正アクセスし、他人の口座から客の替える方法で電子マネーを電子マネーカードにチャージするなどした。

電磁的記録不正作成・開示罪、電子計算機使用詐欺でも検挙。
(3月・千葉)

電子計算機損壊等業務妨害

被疑者(会社役員者・男・28歳)5は、自ら運営する出会い系サイトの匿名配信を行うため、23時間稼働のコンピュータに対してサキュリアホールを攻撃する方法によって不正アクセスし、同サイトのホームページを出会い系サイトへ誘導するよう書き換え、同サイトの業務を妨害した。

不正アクセス禁止法違反でも検挙。
(2月・福岡)

著作権法違反

被疑者(大学院生・男・24歳)は、パソコンに保存されたデータを複製・転送するなどの機能を有するコンピュータファイルを作成し、これにアニメの禁止商標情報を添付した上でファイル共有ソフト「BitTorrent」を起動させ、不特定多数のインターネット利用者に同禁止商標情報を自動的に送信し得るようとした。また、人の名誉を毀損する情報をコンピュータファイルに添付して送信した。

名誉毀損でも検挙。
(1月・京都)

サイバー犯罪の
〈傾向と対策〉

心と体を守ろう

違法情報と有害情報から 子どもを守りましょう

薬物、自殺、アダルトなどへのバリアーを

インターネット上には違法な薬物販売の広告、危険な自殺の呼び掛け、アダルト画像など、青少年に悪影響を及ぼす情報が氾濫しています。成長過程の子どもたちが、このような違法情報、有害情報に触れることは、決して好ましいことではありません。保護者の皆さんは子どものインターネット利用状況をできるだけ把握し、子どもが安全で有益なネットライフを送れるよう指導してください。

対策

■ パソコン・インターネットを安全に利用するための約束

子どもと話し合ってパソコン・インターネットの利用ルールを決めてください。

■ フィルタリング 子供のための有効なバリアー（防壁）

フィルタリングとは、ウェブサイト上の違法情報、有害情報へのアクセスを制御するために、受信者側でこれらの情報を受信するかどうかを選択できる機能です。ソフトウェアまたはサービスとして利用できます。

● パソコンの場合 ●

市販ソフトのほか、プロバイダや通信インターネット協会が提供しています。

● 携帯電話の場合 ●

携帯電話会社がフィルタリングサービスを無償で提供しています。

インターネット・ ホットラインセンター

インターネット上の違法情報、有害情報について一般国民からの通報を受け付けています。通報された情報を分析し、違法情報の場合は、警察へ通報するとともに、プロバイダ、サイト管理者等に対して削除を依頼します。有害情報については、プロバイダ、サイト管理者等に対して契約約款に基づく対応を依頼します。

<http://www.internethotline.jp/>
(PCから) 携帯電話はこちらから→



※ 通報された違法情報、有害情報の削除について、上記サイトに掲載しているネットライン運用ガイドラインにご覧下さい。
※ 通報の手続きと対応に2週間が必要な場合は、警察に110番通報して下さい。

サイバー犯罪の
〈傾向と対策〉

家族みんなで気をつけたい

パソコンで、ケータイで 身近なサイバー犯罪が増加



悪質な誹謗中傷の書き込み



掲示板、ホームページ、ブログで誹謗中傷が書き込まれ、それが原因でトラブルが発生しています。他人の個人情報や写真をネット上で本人の許可なく公開することは、厳に慎むべきことです。そのような書き込みに対しては、法律（プロバイダ責任制限法）によってプロバイダやサイト管理者が情報の送信を停止できる決まりになっています。

対策

- 不当な書き込みや個人情報等を掲載された場合は、サイト管理者やプロバイダに削除を要請しましょう。
- 自分や家族・友人の個人情報を安易に掲載しないよう心がけましょう。
- 自分の個人情報がある程度公開しなければならぬ場合でも、電話番号や詳細な住所などを公開する必要があるか十分に考えましょう。

危険な出会い系サイト

正体のわからない相手との書き込みやメール交換から始まる出会い系サイトの男女交際には、失望と危険がつきまっています。最悪のケースでは、拉致から殺人に至る事件が実際に起きています。

法律によって18歳未満は利用禁止

出会い系サイト規制法では、出会い系サイトにおいて、大人が18歳未満の者に対し、交際を希望する書き込みをすることも、18歳未満の者が交際相手を探す書き込みをすることも禁止されています。



- 出会い系サイトは、見ない、書き込まない、絶対に会わない。

架空・不当請求メール



利用した覚えのない有料サイトの料金を請求する「架空請求メール」、メールにリンクが貼られたホームページを開いただけで料金が請求される「不当請求メール」、別名「ワケリンク請求メール」。これらは、よくある詐欺の手段です。

- 無視してください。
※返信を送ったり、問い合わせ先に問い合わせたりなど、一切無用です。無視して削除しても何ら問題ありません。
- 心配なときは、受信メールを証拠として保存しておいてください。

ネットゲームで犯罪

オンラインゲームとも呼ばれるネットゲームは、仮想空間で未知の相手と競い合う面白い遊びかもしれませんが、しかし、対戦相手は仮想世界の者ではなく、あくまでも現実の生身の人間です。いたずらや詐欺・盗撮まがいの不正行為をするかもしれません。互いにルールを守って遊びたいものです。

不正アクセス禁止法違反も発生

ネットゲーム上で他人のアイテムを盗むために、他人のID・パスワードを無断で使用した事件が発生しています。ゲーム上の「ルール違反」では済まされない犯罪行為です。

- パスワードを他人に教えない。
- 複雑なパスワードを使用する。



サイバー犯罪の
傾向と対策

便利なインターネットサービスを
完全に利用するために

個人情報や 詐欺被害にご注意

ネットバンキング
ネットショッピング
ネットオークション

個人情報が狙われる① フィッシング



架空の企業・金融機関を名乗るメールで、システム変更によって新しいID・パスワードの登録が必要などと偽り、本物らしくデザインされた偽造のWebページへアクセスさせ、現在使用しているID・パスワードやカード番号・暗証番号などを入力させようとします。犯人たちは、そうして得た情報を元にカードを偽造し、現金を引き出したり、商品を購入したりします。巧みに作られた偽造のメールやWebページにだまされないよう気をつけてください。

対策

- ① メールにWebページへのリンクが貼られている場合は、そこをすぐにクリックせず、まず企業名・金融機関名などが正しく記入されているか、内容に不審な点はないかなど確認する。
- ② メールに不審な点があった場合は、関係者であるはずの企業・金融機関に直接問い合わせを確認し、その上で手続きを行う。
- ③ メールへのリンクページを開いたときは、表示されるURLやページの内容・デザインに注意し、偽造ページでないことを確認する。

個人情報が狙われる② スパイウェア

スパイウェアと呼ばれるソフトは、企業・金融機関を詐称して送られてきたCD-ROMやメールの添付ファイルとして、あるいはアクセスしたWebサイトからのダウンロードファイルという形でパソコンにインストールされ、ハードディスクに保存されている個人情報やキーボード入力情報、ディスプレイ表示、接続メモリの映像などを、第三者のパソコンに送ります。こうして盗まれた個人情報によって銀行口座から現金が引き出されたり、クレジットカード決済で買い物がされたりする被害が発生しています。

対策

- ① 不審なCD-ROMは使用しない。
- ② メールの不審な添付ファイルは開かない。
- ③ OSメーカーのサポートサイトを利用してシステムをアップデートし、OSのセキュリティ機能を常に最新の状態に保つ。
- ④ スパイウェア駆除ソフトまたは駆除機能付きウイルス対策ソフトを常に最新の状態で使用する。



トラブルが多発 ネットオークション

インターネットオークション詐欺と呼ばれる次のような被害が発生しています。

- ① 支払い代金を振り込んだが、商品が届かない。
- ② オークションの出品者からメールで直接取引を持ちかけられ、代金を振り込んだが、商品が届かない。
- ③ 送られてきた商品が破損している、または粗悪品だった。

対策

- ① 代金着払いまたはエスクローサービス（第三者が決済と発送を保証するサービス）など安全な取引方法を指定する。
- ② 直接取引には応じない。
- ③ 出品者の銀行口座、振込みの記録、取引時のWeb画面やメールを保存、または印刷しておく。



個人情報狙われる① インターネットカフェ



インターネットカフェでパソコンを使用した後に、データを削除した場合でも、ハードディスクには情報が残ってしまい復元され、悪用される可能性があります。また、不特定多数の人が利用するインターネットカフェのパソコンには、不正なソフトがひそかにインストールされている危険性もあります。

対策

- ① ID・パスワードや金融情報など、重要な個人情報は入力しない。
- ② ネットバンキングなど金融関係のネットサービスには利用しない。
- ③ 情報セキュリティ対策が十分でないインターネットカフェは利用しない。

情報を盗み見られる危険 無線LAN

無線LANルータのセキュリティ設定を適切に行っていないと、第三者に無線LANでやり取りしている情報を盗み見られる危険があります。また、セキュリティ設定を適切に行っていない無線LANルータを第三者が悪用し、不正アクセス等の犯罪を行う事実も発生しています。

対策

- ① セキュリティ設定（無線LANでやり取りするデータの暗号化や利用者の制限）を必ず行う。
- ② 使わないときは、パソコンや無線LANルータの電源をOFFにする。



インターネット 安全・安心相談

<http://www.cybersafety.go.jp/>

(平成21年4月1日より警察のホームページに統合される予定です。)

困ったときの対応策を提供しています。



相談窓口

インターネット上での主な取りごとのついて、基本的な対応策をお知らせしています。



事例検索

相談事例を紹介するコーナーです。パスワードやカテゴリー別に検索することができます。

インターネットを 利用する際の注意点

- パスワードは、容易に推測できるものを選び、定期的に変更しましょう。
- ID・パスワード、クレジットカード番号等の個人情報はむやみに入力しないようにしましょう。
- 使用しているOSやソフトウェアは、最新のセキュリティパッチ(修正プログラム)を適用しましょう。
- ウィルス対策ソフトを導入し、常に最新の状態に更新しましょう。
- 怪しいサイトには興味本位でもアクセスしないようにしましょう。

インターネットの広界でも、ルールと常識を守り、責任ある行動をしましょう。

都道府県警察本部のサイバー犯罪に関する相談窓口

※相談窓口はサイバー犯罪の窓口ではなく、犯罪全般の窓口の場合もあります。

詳しくは・・・<http://www.npa.go.jp/cyber/soudan.htm>

北海道・東北

北海道 ☎011-241-9110 (06)
青森 ☎017-736-9110 (06)
岩手 ☎019-854-9110 (06)
宮城 ☎022-266-9110 (06)
秋田 ☎018-865-9110 (06)
山形 ☎023-642-9110 (06)
福島 ☎024-533-9110 (06)

関東・関東

警視庁 ☎03-3431-8109 (06)
茨城 ☎029-301-8109 (06)
栃木 ☎028-627-9110 (06)
群馬 ☎027-224-8080 (06)
埼玉 ☎048-832-0110 (06)
千葉 ☎043-227-9110 (06)
神奈川 ☎045-664-9110 (06)
新潟 ☎025-265-0110 (06)
山梨 ☎055-235-2121 (06)
長野 ☎026-233-0110 (06)
静岡 ☎054-254-9110 (06)

中部

富山 ☎076-442-0110 (06)
石川 ☎076-225-0110 (06)
福井 ☎0776-22-2880 (06)
岐阜 ☎056-272-9110 (06)
愛知 ☎052-851-1611 (06)
三重 ☎059-224-9110 (06)

近畿

滋賀 ☎077-625-0110 (06)
京都 ☎075-414-0110 (06)
大阪 ☎06-6943-1234 (06)
兵庫 ☎078-341-7441 (06)
奈良 ☎0742-23-0110 (06)
和歌山 ☎073-432-0110 (06)

中国

鳥取 ☎0857-27-9110 (06)
島根 ☎0852-31-9110 (06)
岡山 ☎086-234-0110 (06)
広島 ☎082-228-0110 (06)
山口 ☎083-622-8883 (06)

四国

徳島 ☎089-622-9101 (06)
香川 ☎087-633-0110 (06)
愛媛 ☎0120-31-9110 (06)
高知 ☎098-675-3110 (06)

九州

福岡 ☎092-641-9110 (06)
佐賀 ☎092-26-9110 (06)
長門 ☎095-823-9110 (06)
熊本 ☎096-383-9110 (06)
大分 ☎097-534-9110 (06)
宮崎 ☎098-26-9110 (06)
鹿児島 ☎099-254-9110 (06)
沖縄 ☎098-863-9110 (06)

※(緑)は警察総合相談電話番号、(代)は警察本部代表電話番号、(黒)はサイバー犯罪相談専用電話番号です。

財団法人 社会安全研究財団

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-8 大手町後野ビル 6階
ホームページアドレス <http://www.syaanken.or.jp/>

警察庁

サイバー犯罪対策のホームページ <http://www.npa.go.jp/cyber/>